

## 残雪の谷川岳（個人山行）

◎期日：2025年4月28日

◎メンバー：FJ（L）、TM

ゴールデンウィーク、この時期はまだ残雪の山を狙えます。TMさんを誘って谷川岳に日帰りで行くことにしました。天気予報がずれて曇りのち雨の予報でしたが、まあ前半だけは景色も楽しめるかな、との読みで決行しました。

朝 5:45 に最寄り駅を出発、車で約 2 時間、関越道の水上 IC で降りる。ロープウェイ駅に着きましたが、立体駐車場はガラガラ、チケット購入も行列なしで、タイムロスなくロープウェイに乗車できました。天気予報が悪くてお客さんの少なさが予想以上でした。



広くてきれいなゴンドラ車内



ロープウェイ天神平駅



スキー場は営業終了



谷川岳 土砂交じりの黒い雪崩痕

ロープウェイに乗車して約 15 分、天神平に到着。広々とした斜面にはリフトが上に伸びている。リフト係のお兄さんの話によると、つい数日前にスキー場は営業終了したそうです。さてアイゼンを装着して 9:30 に歩行開始。目指す谷川岳は白黒のまだら模様。雪崩が流れた痕が黒い筋となって凄みがある。雪の斜面は両腕の力が使えるストックのほうが登りやすい。ルートは所々、雪が途切れて、アイゼンでは非常に歩きにくい岩場がイヤラシイ。雪渓の端の巨大クラック部を見ると雪の厚みが 4~5m もあって驚く。



熊穴沢避難小屋 下部は雪に埋まっている



巨大クラック。雪の厚みは4~5mあるか。

広大な急斜面を登りきって肩ノ小屋に到着。天気がまだ保ってくれている！素晴らしい！山頂はすぐ目の前。急いだほうが良い。ザックをデポして身軽になって最終セクションに挑む。ここから先は土が出ていてアイゼンも外す。双耳峰の山頂、トマの耳とオキの耳でしばし景色を楽しみました。東側は足元が切れ落ち、深い谷の向こうには白毛門などの山々。西側も谷川岳の主稜が伸び、越後の山並みが見事です。



山頂（トマの耳）



山頂（オキの耳）から東方向、湯檜曾川、白毛門など



肩ノ小屋から西に伸びる尾根（万太郎山、仙ノ倉山、平標山へ続く）

目的の登頂を果たし、安心して肩ノ小屋に戻り、しばし昼食休憩にする。しかし、しばらくすると北西方向の空が真っ黒い雲に覆われ、かなり激しく雨が降っている様子。あの黒雲がじきにこっちに来るぞ、と、急いで休憩を切り上げ、あたふた身支度を整え下山開始。下りはとても速い。しかし雨雲からは逃げきれず、ついに雨となりました。TMさんが「なんか山行の最後に雨に降られることが多いよね」と。確かに、昨年から赤石岳、越後中の岳、がこのパターンでした。それでも今回は終盤まで天気が保ってくれて助かりました。時間的に余裕を残して無事にロープウェイに戻りました。



黒い雨雲が迫るなか、急斜面を駆け下りる

天候を心配しましたが、下山時まで雨に降られず、残雪の登山を十分に楽しみました。白黒まだら模様の谷川岳、広大な雪の急斜面、目のくらむ高さの崖、複雑に重なる山並み、遠くに響く雪崩の音、迫る黒雲、雨に打たれて黙々歩き、など印象的な充実の一日となりました。TMさん、ありがとうございました！

#### 《コースタイム》

9:00 ロープウェイ山麓駅～9:1 天神平駅

9:30 歩行開始～10:30 熊穴沢避難小屋～12:15 肩の小屋～12:30 山頂（トマの耳）

～12:55 山頂（オキの耳）～13:40 肩の小屋（昼食休憩）

14:10 肩の小屋～14:40 熊穴沢避難小屋～15:35 ロープウェイ天神平駅

15:45 ロープウェイ天神平駅～16:00 山麓駅